

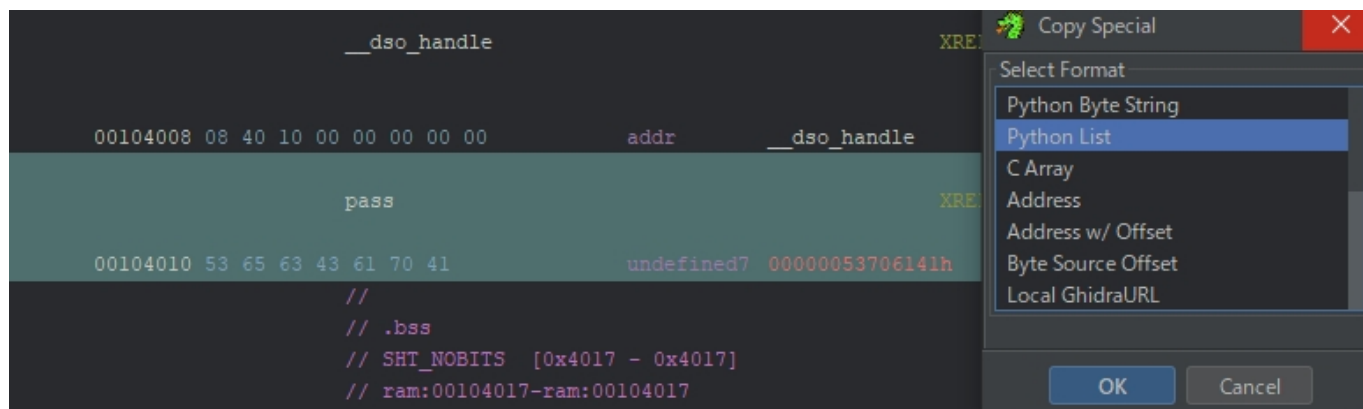
Ghidra チートシート

便利な機能

Copy special

暗号データをpythonなどの他のプログラミング環境で復号するとき、暗号データをリストなどで取得したいときがある。Listing Windowにおいて、バイト列（暗号データや鍵など）の範囲を選択し、右クリック->[Copy Special]を選択すると、好きなデータ構造でコピーすることができる。

以下の例では、`[0x53, 0x65, 0x63, 0x43, 0x61, 0x70, 0x41]`というリストをコピーすることができる。



ショートカットコマンド

公式のチートシート：<https://ghidra-sre.org/CheatSheet.html>

以下は日本語に訳したものである。

プロジェクト/プログラム操作

- 新規プロジェクト: `Ctrl + N`
- プロジェクトを開く: `Ctrl + O`
- プロジェクトを閉じる: `Ctrl + W`
- プロジェクトを保存: `Ctrl + S`
- ファイルをインポート: `I`
- プログラムをエクスポート: `O`
- ファイルシステムを開く: `Ctrl + I`

ヘルプ/カスタマイズ/情報

- Ghidra ヘルプ: `F1`
- Ghidra について: メニュー → ヘルプ → Ghidra について
- プログラムについて: メニュー → ヘルプ → プログラム名
- 設定: メニュー → 編集 → ツールオプション
- キーバインド設定: `F4`
- プロセッサマニュアル: 右クリック → プロセッサマニュアル

マークアップ

- 元に戻す: `Ctrl + Z`
- やり直す: `Ctrl + Shift + Z`
- プログラム保存: `Ctrl + S`
- 逆アセンブル: `D`
- コード/データ削除: `C`
- ラベル追加: `L`
- ラベル編集: `L`
- 関数の名前変更: `L`
- ラベル削除: `Del`
- 関数削除: `Del`

データ定義

- データ型を選択: `T`
- データ型の繰り返し定義: `Y`
- 変数の名前変更: `L`
- 変数の型変更: `Ctrl + L`
- 整数型の切り替え: `B`
- 文字列型の切り替え: `'`
- 浮動小数点型の切り替え: `F`
- 配列作成: `[`
- ポインタ作成: `P`
- 構造体作成: `Shift + [`

ナビゲーション

- 移動: `G`
- 戻る: `Alt + ←`
- 進む: `Alt + →`
- 次の命令: `Ctrl + Alt + I`
- 次のデータ: `Ctrl + Alt + D`
- 次の未定義: `Ctrl + Alt + U`
- 次のラベル: `Ctrl + Alt + L`
- 次の関数: `Ctrl + Alt + F`
- 次の関数に移動: `Ctrl + ↓`
- 前の関数に移動: `Ctrl + ↑`
- 次の異なるバイト値: `Ctrl + Alt + V`
- 次のブックマーク: `Ctrl + Alt + B`

ウィンドウ

- ブックマーク: `Ctrl + B`
- バイトビューア: メニュー → ウィンドウ → バイトビューア

- デコンパイラ: **Ctrl + E**
 - 関数グラフ: メニュー → ウィンドウ → 関数グラフ
 - スクリプトマネージャ: メニュー → ウィンドウ → スクリプトマネージャ
 - メモリマップ: メニュー → ウィンドウ → メモリマップ
-

検索

- メモリを検索: **S**
 - プログラムテキストを検索: **Ctrl + Shift + E**
 - ...を検索: メニュー → 検索 → 指定の項目
-

その他の操作

- スクリプト再実行: **Ctrl + Shift + R**
- アセンブル: **Ctrl + Shift + G**